



—学校・保護者・地域とともに子どもたちの未来を創造する—

教育委員会だより

「住むんだったら」「学んだったら」「教えるんだったら」つがる市がいい！

第 6 号

令和5年2月

つがる市教育委員会

今年度の本市教育を振り返って

つがる市教育委員会教育長 葛西 岨 輔

今年度つがる市教育委員会では、「**一步先の教育**」を目指して、重点となる5つの柱を立て取組を進めてきました。

1つ目の柱である「つがる市型小中一貫教育」については、5つの学区で工夫された計画のもと、「9年間で子どもを育てる」取組が始まっています。

2つ目の柱である「通級指導教室の充実」については、今年度より小学校で巡回型通級指導が開始され、各学校の先生方、保護者の皆様より大変助かるという声をいただいております。

3つ目の柱である「学校における働き方改革の推進」については、学校と教育委員会が連携しながら今後も継続して取組を進めてまいります。

4つ目の柱である「世界遺産『北海道・北東北の縄文遺跡群』に関わる取組の充実」については、縄文住居展示資料館カルコの改修や展示替え、縄文遺跡案内所のリニューアルなど、情報発信の強化に取り組みました。

5つ目の柱である「国民スポーツ大会への取組と市総合体育館建設・スポーツ環境づくり」については、今年6月の市総合体育館オープンに向けた準備が着実に行われました。

その他、本紙3ページに掲載しておりますが、今年度も本市の子どもたちの学力は大変良好なものになっております。つがる市の「宝」である子どもたちを、来年度も「学校・家庭・地域」とともに育てていくために、市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

【教育用語解説】 ICT 支援員とは？

今、学校では ICT(情報通信技術)を活用した教育の情報化を急ピッチで進めています。その中で、大きな役割を果たすのが、ICT 支援員です。授業や家庭学習で ICT 機器(パソコン、タブレットなど)を効果的に活用しながら、次の世代を担う子どもたちに、すべての学習の基盤となる資質・能力である **情報活用能力を伸ばす**ことが目的です。文部科学省では、今年度までに全国の小中学校の4校に1名、ICT 支援員を配置することを目標にしています。ICT 支援員の主な仕事は、



- ・授業で使う ICT 機器の準備
- ・先生や児童生徒の操作のサポート
- ・授業や教材作成のサポート
- ・ICT メンテナンスサポート
- ・先生の ICT 活用研修
- などです。

つがる市では、3名の ICT 支援員を採用し、各校に週1回派遣しています。

今年度の取組の成果

教育委員会では、今年度もコロナ禍で様々な活動が制限される中、学校や関係機関と連携しながら、最大限今できる取組を行ってきました。主な取組の成果を報告します。

教育総務課

今年度も新型コロナの影響で、「学級閉鎖・臨時休校」等がありましたが、そのような中でも保護者の皆様にご協力いただき、校内での感染拡大防止対策がなされ、児童生徒が安心して学校生活に取り組むことができましたことに感謝申し上げます。担当課として、これまで以上に感染対策に取り組んで参ります。また、8月の大雨災害では、休日、深夜の時間帯でしたが、地域住民の命を守るために「学校施設避難所の開設」をすることができました。各校のご協力ありがとうございました。

最後に保護者の皆様へお知らせがあります。昨今の急激な物価高騰の影響で、「安全・安心で美味しい給食を継続」するために、給食費を値上げせざるを得なくなりました。しかしながら、実際に保護者の皆様から「ご負担いただく額」には、変更がございませんのでご安心ください。詳細については、各ご家庭に学校を通じて「お知らせ」を配布しておりますので、ご理解をお願い致します。

社会教育スポーツ課

令和2年度より建設を進めてまいりました「つがる市総合体育館」が令和5年1月に完成いたしました。この施設は、つがる市におけるスポーツ活動や文化活動の拠点施設として整備され、令和5年6月1日より正式にオープンいたします。また、同年4月8日から5月21日までの期間はプレオープン期間として無料開放いたします。



メインアリーナ(バスケットコート2面分)、サブアリーナ(バスケットコート1面分)、武道場(柔道2面分)や屋内ランニングコース(1周約260m)、トレーニングルームが整備され、各種スポーツやイベント等にも幅広くお使いいただける施設となっております。

指導課

- ① 今年度より市内の全小中学校で、つがる市型小中一貫教育を開始しました。中学校の教員がその専門性を生かして小学校で授業を担当する等、各一貫教育校で実態に応じた特色ある教育活動が行われています。
- ② 指導課の学校訪問や教員を対象とした各種研修会の開催を通し、各校の教員と共に毎日の授業改善に努めてきました。新しい時代に対応した1人1台のタブレット端末を活用した授業も各校で工夫されています。各種調査の結果を見ても、つがる市の児童生徒の学力は、良好な状況を維持しています。

文化財課

史跡整備に向けた情報収集のため、田小屋野貝塚の発掘調査を実施しました。縄文時代前期の竪穴建物跡が新たに確認され、建物跡の中から貝層や多数の土器などが出土しました。この他、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の情報発信強化のため、縄文遺跡案内所をリニューアルし、「つがる市 JOMON ポータルサイト」を開設しました。今年度は5千人を超える史跡来訪者があり、遺跡ボランティアガイドの皆さんには4～11月の間、遺跡の価値や魅力を伝えるためにご尽力いただきました。



田小屋野貝塚の発掘調査

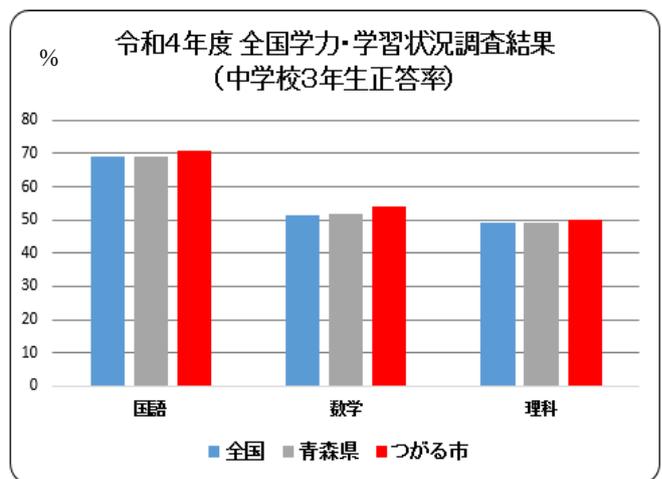
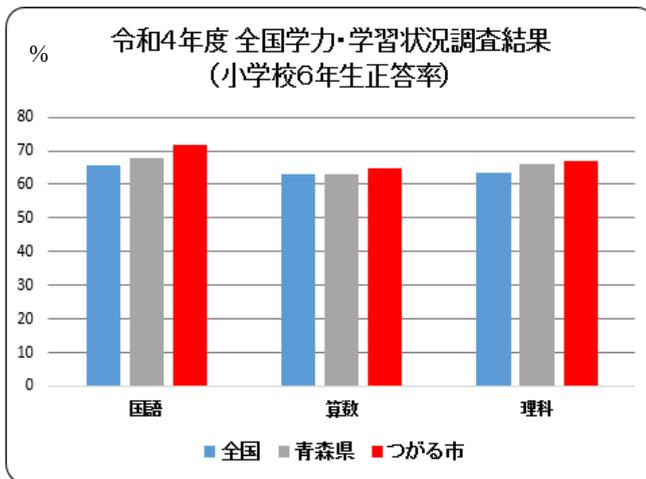
本市児童生徒の学力の状況

<全国学力・学習状況調査、青森県学習状況調査の結果より>

4月に実施された全国学力・学習状況調査(小6・中3対象)と8月に実施された県学習状況調査(小5・中2対象)の結果をお知らせします。今年度も本市の学力は大変良好な結果となりました。

① 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果 (令和4年4月19日実施)

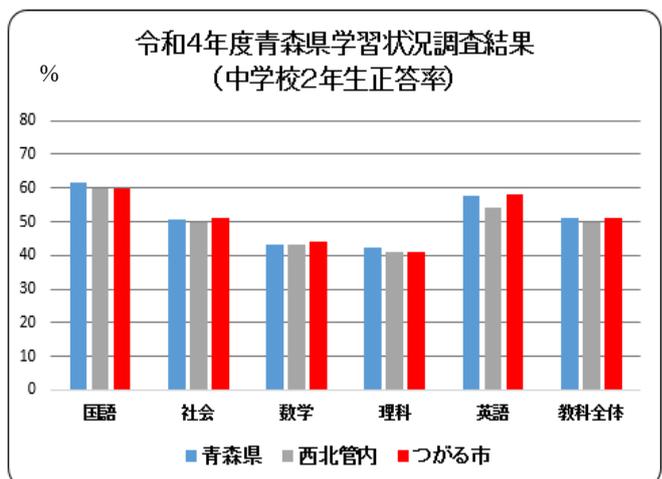
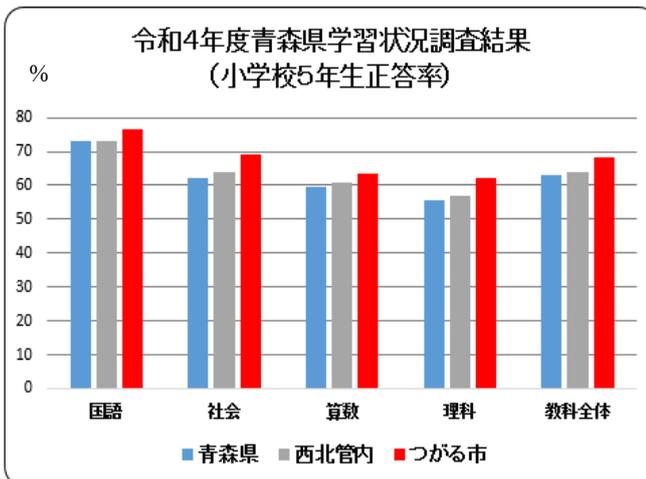
全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。本市は、小学校・中学校とも全国・青森県平均を上回り、全国の成績トップ県に近づく好成績となりました。特に、小学校国語は、全国1位の成績だった秋田県の平均を上回りました。これまで継続して授業改善に取り組んできた各校の頑張りが成果として現れたものと思います。



② 青森県学習状況調査の結果 (令和4年8月31日実施)

青森県学習状況調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象に実施されました。本市の小学校は全教科、教科全体とも県1位(10市と6郡部*の16区分中)と大変すばらしい結果となりました。中学校は、数学が県平均を上回り、社会、英語と教科全体で県平均と同率という良好な結果となりました。

*6郡部は東、西北、中南、上北、下北、三八の区分



令和5年度から中学校通級指導がスタートします【指導課】

□ 中学校の通級指導は？

通級指導とは、通常学級に在籍している子どもの中で、学習面や生活面、相手とのコミュニケーションなどで課題(困り感や悩み)を抱えている子どもを対象に、基本的に週1～数時間、個別または少人数で、困り感や悩みの解消・軽減に向けた指導をする仕組みです。通級指導以外の時間帯は、通常の学級で授業を受けることになります。

全国的に通級指導のニーズは年々高まっており、県内でも西北管内(五所川原市、つがる市、西津軽郡、北津軽郡)と下北管内(むつ市、下北郡)以外の管内で、中学校(実施校は各管内1～3校)における通級指導が行われています。

つがる市では、年々高まるニーズに応えるため、西北管内で初めての中学校における通級指導を行うことにいたしました。木造中学校をベース校として、つがる市内4中学校に、担当教員を派遣して指導を行います。

□ どうしたら、通級指導が受けられるの？

まず、在籍中学校に連絡、または教育委員会にある「教育支援センター(電話49-1204)」・木造中学校通級指導教室(電話42-3250)のいずれかに電話をして、ご相談ください。その上で、お子さんがどんなことに「困り感」を抱えているかを見極め、お子さん・保護者の方との十分な共通理解のもと、教育委員会において通級指導が必要かどうかを判断し、指導が開始されます。

中学校の通級指導は、開設準備期間を経て令和5年5月から開始されます。

